

第19回 文化祭 ご出展& ご来場御礼

第19回文化祭は2018年12月7日(金)～12(水)日まで開催致しました。例年通り「エル・おおさか」本館9階ギャラリーです。

① 今回の特徴

まずウェルカムボードを重厚感あふれ見ごたえのあるデザインで仕上げ、新設致しました(彦由達雄氏作)。また孫の笑顔写真を新たに募集しました。

② ギャラリー1には写真(今年42点-昨年27点) 絵画(32-27) ギャラリー2には手芸、工作、書、陶芸(18-27)とグループ作品(4-5)等を展示しました。

③ デジカメ写真等A4仕上げ作品は廊下に、孫の笑顔写真、万博ネイチャーフェスタを展示しました。(106-119)

④ 1部作品の写真では写真クラブ「きららを」を始め優秀な作品が数多く展示され、今回の出展は(42-27)と唯一昨年を上回りました。絵画は20号の大作を始め力作が並びました。百貨店で数十万円で販売する予定の作品も参加して頂きました。また2時間もかかって持参し展示して頂きました力作も・・・工作では風力で動く作品、スマホに動画を写せば説明する新たな工夫が見られ、グループでは森と海の自然科のタカアシガニの本物を展示し好評でした。自然と文化科では例年定評のあります工作を、全員が作られ見事でした。カービングは先生と生徒で100以上のブローチ、クラブ織は見事に織られた作品が並びました。

手芸・工芸・書・陶芸では・・・プロ並みの陶芸、書もすご技の作品でした。海の自然物・河内西国などカレッジからの新たな作品が展示されました、これを機に広めて頂きたいものです。

⑤ 2部の作品デジカメ等では野鳥科が鳥の写真を団体で20数点の参加でした、新設の孫の笑顔では初回で9点の参加でしたが全てのシニアがほっとする作品でした。今回を参考にして次回には大幅に増えます事を期待したいと思います。

1部作品(写真・絵画・工作等々) 95点(昨年108点-88%)

2部作品(デジカメ等) 106点(昨年119点-89%)

合計 201点(昨年227点-89%)

期間中の入場者数は747人(昨年859人-87%)で閉幕しました。皆様には多くの素晴らしい作品をご出展頂き、また多くの方々に来場頂きまして、ありがとうございました。御礼申し上げます。

来年は文化祭20周年の節目を迎えます。皆様のさらなるご協力をお願い申し上げます。

平成30年12月12日

文化祭特別行事委員会 実行委員長 鳥井浩正、委員一同



こなん あいほっせ

<FIELD SOCIETY 共生き堂・法然院森のセンター>を訪ねて

昨年11月の同窓会で同センターを訪ねた。ここは1985年にお寺と市民の二人三脚で「法然院森の教室」として活動が開始された。テーマは“森はともだち” 活動内容は、オープンルームでの自然体験プログラムやクラフト体験。自然観察会、お寺の「観察の森づくり」、講座や講演会等。当日は、活動内容をスライドで説明を受けた後、里山自然コーナーでの森で見つけたキノコや岩石の標本、生き物のはく製、自然グッズ等の説明を聞きながら見学。最後は、法然院の境内を散策しながら、樹木や建物の作り等いろいろ説明をして頂いた。ここでも台風による倒木や時間の関係で途中までしか行けなかったのが残念だった。場所は、京都市左京区。ホームページもあるので一度覗いてみてはいかがでしょうか。

入館無料、ガイド有料

(シ22 中谷)